



地産地消を進める 多摩地域の 食品リサイクル事業

2023年
6月10日(土)
14:00 ~ 16:30

自治体においては、生ごみが可燃ごみの3割~4割を占め、ほとんどが焼却されています。生ごみを焼却すると、地球温暖化の原因となるCO2が排出されるとともに、資源としての利用が絶たれてしまうことから、自治体にとって、生ごみの焼却削減とそのための資源化は重要な課題です。

自治体が生ごみの資源化を進める際には、民間食品リサイクル施設の活用が有力な選択肢となります。

そこで、今回の市民ごみ大学セミナーでは、多摩地域の羽村市で生ごみをバイオガス化している「西東京リサイクルセンター」と、八王子市で生ごみを堆肥化している「イズミ環境」の2社をお呼びして、生ごみをどのようにして資源化し、どう有効利用しているかを具体的に紹介していただくことにしました。

行政・市民・事業者のみなさんには、これを機会に生ごみの資源化に対する認識を深め、今後の生ごみへの取り組みの参考にいただければ幸いです。ご参加をお待ちしております。

バイオガス発電事業の新しい取り組み



株式会社 西東京リサイクルセンター 代表取締役 植田 徹也 さん

当社は、2020年8月に羽村市で羽村バイオガス発電所の操業を開始しました。それ以降の3年間に、脱炭素、SDGs、資源循環など、サプライチェーンを取り巻く状況も劇的に変化しています。その中であって、バイオガス発電所は、まさに、サーキュラーエコノミーの中心に位置付けられています。当社が行う新しいバイオガス事業の現況と今後の展望についてお話をいたします。

八王子バイオマス・エコセンターの取り組み



株式会社 イズミ環境 取締役センター長 荒幡 真次 さん

当社では、地域で発生した生ごみ等の食品廃棄物を発酵堆肥化する食品リサイクル事業を行っています。生産した堆肥は地域の農場等へ還元することによって循環型社会の形成に貢献します。また、給食残さを受け入れている小中学校には生産堆肥を提供し、環境学習・食育活動に活用していただいています。これらの取り組みや堆肥製造の処理フローの概要をご報告いたします。

ごみ・環境ビジョン21



〒184-0013
東京都小金井市前原町4-11-15 井上方
TEL: 080-9291-3623 / 080-1131-6205
FAX: 042-383-1668
e-mail: gomikan21@yahoo.co.jp
HP: <https://gomikan21.com/>

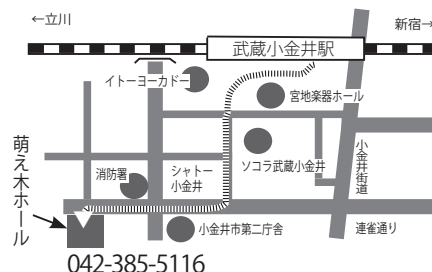
申込み不要。
直接会場へおいでください。

参加費(資料代)
会員・学生: 無料
一般: 500円

会場

小金井市市民会館
(3階 萌え木ホール)

武蔵小金井駅 南口 徒歩7分



042-385-5116